

世界が注目した沖縄米兵裁判

カリフォルニア大教授 福来

寛55 (米サンタクルーズ)

那覇地裁は5月27日、タクシー運転手にナイフを突き付けてかすり傷を負わせ、現金を奪った米兵の被告少年(19)に懲役3年以上4年以下の実刑判決を言い渡した。米兵を被告とする

ら
の国の多くで米兵の犯罪が社会問題となっているこ

全国初の裁判員裁判で、一般市民が参加する司法制度で米兵の犯罪を裁いたのは東アジア初だ。05年時点で海外の米軍基地は737カ所あり、150以上の国に米兵が駐屯している。これ

とは想像に難くない。

地元住民が直接司法に参加する大きな理由としてチ

ェック・アンド・バランス

(抑制と均衡)がある。地

元住民のチェック権限で米

兵の行動に責任を課し、犯

罪行為を減少させる効果が

あり、今回の裁判に、米軍基地を持つ世界各国が大きな関心を寄せる理由だ。

米軍基地がある地域での活発な市民の司法参加は米兵の横暴な行動に歯止めをかけ、地元社会の法的自立や司法統治権の確立、米兵の犯罪が起る理由となる米軍基地を合法化している地位・軍事協定の見直しにもつながる可能性がある。

6/25/10 (金)